

■ドイツ：消費者の76%が弾力的な電気料金に関心

BITKOM（ドイツ情報技術・通信・ニューメディア連邦連合会）は2017年2月6日、消費者の76%が、需給状況に応じて価格が変化する弾力的な電気料金に関心を持っていると発表した。これはエッセンで開催される国際エネルギー見本市、E-Worldに合わせて、BITKOMが18才以上の1,008人を対象に行ったアンケートの結果明らかになったもの。弾力的な料金に関心のある人のうち、58%が再エネ電力の消費促進、57%が電気代の節約、39%がより適正な料金計算、を目的に挙げている。また、多くの国民にとって電力消費と電気代は重要な関心事であり、92%が家電購入時に消費電力量に注意し、60%が過大な電力消費を理由に家電を廃棄した経験がある、と答えている。その一方、「自分の年間電力消費量を知らない」が49%、「毎月の電気代を知らない」も37%となっている。